

## 7 交通ネットワークの充実について

【国土交通省、総務省】

### 《提案・要望事項》

- 1 高規格幹線道路網は、国土強靱化、地方創生を実現し、経済に好循環をもたらすストック効果発揮のため、更なる整備が望まれている。基幹道路網として十分な機能を果たすよう、中部横断・中部縦貫・三遠南信自動車道について、早期整備を図ること。（国土交通省）
- 2 国道 18・19・20・153・158 号の直轄事業を着実に進めるとともに、県が実施する国道 153 号伊那バイパス、木曾川右岸道路、松本糸魚川連絡道路などについて、整備が促進されるよう必要な財源を確保すること。（国土交通省）
- 3 老朽化対策として、道路施設の維持修繕を計画的に実施するための費用増大は地方自治体にとって大きな負担となっているため、必要な財源と予算を確保し、適切な財政支援を行うこと。（国土交通省）
- 4 県内外の主要都市を結び、「ヒト」「モノ」の流動に大きな役割を果たす、中央東線など幹線鉄道の高速度化、安全・安定輸送の確保及び利便性の向上など、鉄道ネットワークの充実のため必要な施策を講じること。（国土交通省）
- 5 地域交通の確保のため、「地域公共交通確保維持改善事業」において、広域・幹線バス路線の補助金減額措置や地域内バス路線の補助上限額を撤廃するなど、制度の拡充を図るとともに、必要な予算を確保すること。あわせて、地域住民の生活交通に加え、福祉の利用も想定されるタクシー輸送の活用等について、地方の実態を反映した地方財政措置等を行うこと。（国土交通省、総務省）

### 【長野県内の現況、課題】

#### 1 高規格幹線道路の状況

（）長野県内延長

	供用済み区間	事業中区間	未事業区間
中部横断自動車道	佐久南～佐久小諸 7.8km	八千穂高原～佐久南 14.6km	長坂～八千穂 34km(約 22km)
中部縦貫自動車道	安房峠道路 5.6km(2.3km)	松本波田道路 5.3km	波田～中ノ湯 27km
三遠南信自動車道	飯田山本～天龍峡 7.2km	天龍峡～喬木 14.9km 青崩峠道路 5.9km(3.3km)	現道活用区間 上村～南信濃 21km

※本県では地元受け入れ態勢の確立や関連道路整備推進などの環境を整えている。

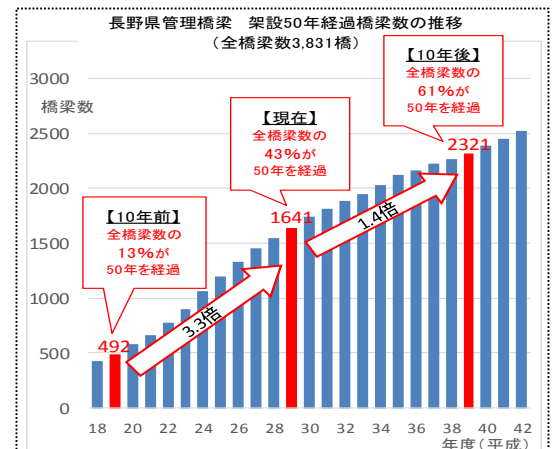
※地方への人の流れを促す高速道路料金割引の拡充も、地方創生にとって必要である。

#### 2 地域高規格道路や一般国道等の整備

松本糸魚川連絡道路などの地域高規格道路や一般国道等の整備についても、市町村や県民からの要望が強い。

#### 3 道路施設の老朽化対策

H25の道路法改正で道路構造物の定期点検が義務付け。今後さらにインフラの高齢化率が高まるため、費用の確保が大きな課題となっている。（参考：右グラフ）



#### 4 鉄道ネットワーク充実のための取組

沿線自治体等と期成同盟会・活性化協議会を通じ、JRに路線の高速化や快適性向上について要望し、また利用促進のための活動を行っているが、高速化等は進んでいない。

○県内の主な鉄道関係同盟会・協議会

路線	名称	主な活動
中央東線	中央東線高速化促進広域期成同盟会	要望、啓発等
篠ノ井線	篠ノ井線松本地域活性化協議会	利用促進等
大糸線	大糸線利用促進輸送強化期成同盟会	要望、利用促進
飯田線	JR飯田線活性化期成同盟会	要望、利用促進

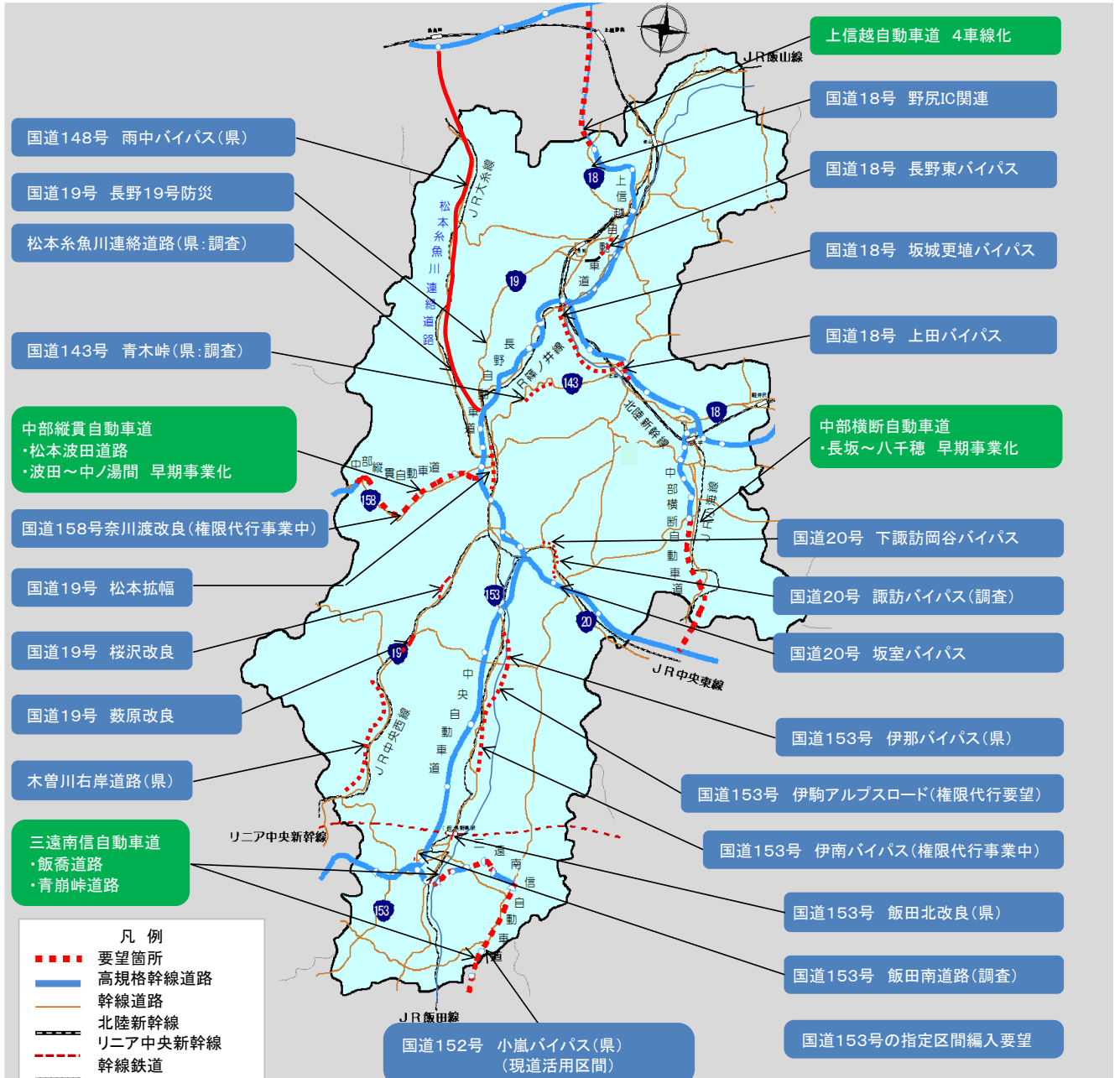
## 5 地域公共交通の状況

補助額の減額により、地域交通の確保が厳しい状況であるほか、地域の生活の足の確保や福祉等、複合的にタクシー輸送を活用する取組に対する財政的措置がない。

本県では、地域における生活交通及び観光交通の持続可能な交通体系の実現に向け、「地域における移動手段の確保・補完に関する検討会」を立ち上げた。

○地域公共交通確保維持改善事業の状況(H29)

区分	補助路線	うち減額見込	割合
広域・幹線バス	29 路線	15 路線	51.7%
地域内バス	39 市町村	30 市町村	76.9%



(県所管部局) 企画振興部、観光部、建設部